

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ぼく（塚原くん）と香帆はクラスメートであり、運動会が行われた日の帰りの場面である。

夕日が落ちて、だれもない校庭はうっすら だ。

ほんの一時前まで、ここで走ったり声をあげたりしていたのに、今はぐちゃぐちゃになった白線が、ところどころ残っているだけだ。「ほんとうにありがとうございます」

① 香帆のお母さんが、樹おじさんに頭をさげている。

「いやいや、そんな。ほくこそ、香帆ちゃんと走れて楽しかったです」

香帆のお母さんは、閉会式がおわるころにようやく到着した。

体調の悪い患者さんがいて、状況が落ちつくまで病院を出ることができなかったのだという。

「大変ですよ、病院でのお仕事って」

お母さんが言うと、香帆のお母さんは「ええ」と複雑な表情でうなずいた。

「せっかく練習したのに、結局一緒に走れなくて」

ぼくたちは、正門の前で立ち話をしていた。

お母さんと、樹おじさんと香帆のお母さん。

おじいちゃんたちは、ひと足先に帰ってしまった。久しぶりに走ったおじいちゃんも、妊婦である莉子おばさんも、さすがにつかれてしまったようだ。

「あんなに楽しみにしていたのに、いっしょに走れなくてごめんね」

つないだ手をゆらしながら香帆のお母さんが声をかけると、香帆はくしゃりと顔をゆがませた。その目から、^②もうがまんできないとばかりに涙がこぼれる。

「お、おい。泣くなって。また来年、お母さんと走ればいいじゃん」

③ おろおろして、ぼくは言った。

「違うの」

声ふるえている。

「うれしいの」

香帆の言葉に、ぼくはさらに困惑してしまう。

「うれしくて涙が出るの。みんなが……心配してくれて、やさしいから。塚原くんが、おじさんと走って言ってくれて……おじさんがいっしょに走ってくれたから、すごくうれしいの」

香帆のお母さんは、つないでいないほうの手をのばすと、香帆のほおをすべり落ちていく涙をぬぐった。

「ほらほら、もう泣かない」

そう言って笑う香帆のお母さんの横顔は、香帆にとってもよく似ている。

正門を出て、香帆たちと別れた。

香帆のお母さんは、^④最後までぼくたちに頭をさげながら歩いていった。

もし香帆のお母さんが競技に出たら、おそらくヒリだったかもしれない。そう思うほど、綿菓子のようにふわりとやさしい感じの人だった。

「じゃあ、おれも帰るな。今日はおつかれさん」

樹おじさんはいつものように、手のひらをぼくにに向けてくる。

「うん」

ぼくは思いきり、樹おじさんの手を打った。

「今日の輝、かっこよかったぞ」

そう言って、樹おじさんは手をふった。

かっこいい。ぼくが？ えっ、どこが？

思いがけない言葉に【A】していると、肩にこつんとお母さんの体がふれた。

「あたしたちも帰ろ」

「うん」

夕日に背中を押されながら、いつもの通学路を歩いていく。細長くのびた影を、ぼくは目で追う。

長いほうの影がお母さん。お母さんを追いこすのは、まだ半分、先かもしれない。ぼくはまだ子供なんだと、そんなあたり前のことを実感する。

「やっぱり、残念だったな」

【B】 ぼくはつぶやいた。
「なにが？」

「田村とお母さん。今日はさ、二人の再出発の日になるはずだったんだ」

お母さんに、香帆のことを話して聞かせた。

「お父さんに見せたいって、言ってたんだ。お母さんといっしょに走ってるって」

暮れていく夕焼けの空を見あげた。

やっぱり、香帆にはお母さんといっしょに走ってほしかった。二人でスタートラインに立つ姿を、空から見守ってほしかった。

「お母さんは、違うと思うな」

ゆっくり首をふりながら、お母さんは否定した。

「香帆ちゃんのお父さん、きつとよるこんでると思うよ。香帆ちゃんにやさしい友達がいる、お母さんのかわりに、いっしょに走ってくれる人がいること。二人だけでがんばらなくてもいいんだよって、まわりの人に助けてもらっていいんだよって、お父さんは言ってると思うな。それがわかったから、香帆ちゃんもうれしくて泣いてたんじゃないのかな」

流れる涙を、ぬぐいもせずに泣いていた香帆。最後は泣き笑いではなをすすっていた。

「正真正銘、今日は⑤香帆ちゃんとお母さんの、再出発の日だったと思うよ」

「ほんとにそう思う？」

「思う！」

お母さんは【C】言った。

「ねえ、今まで考えたことなかったけど、二人三脚って楽しそうだね。来年はお母さんが走っちゃおうかな？」

お母さんは多くの体に腕をまわして【D】引きよせた。

「ぜったい、やだ！」

「なんでよ」

【E】した声でお母さんが言う。

ぼくはお母さんの腕からぬけ出した。

「来年も、おじいちゃんと走るって約束したんだ」

（葉山エミ『ペランダに手をふって』より）

問一 【A】～【E】にあてはまる語としてそれぞれ適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア きつぱりと イ ぼつりと ウ むつと エ ほうつと オ ぎゅつと

問二 □にあてはまる語として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 水色 イ 灰色 ウ オレンジ色 エ 黒色

問三 線部①「香帆のお母さん」の様子が書かれている部分を、本文中から二十字以内でぬき出し、最初の五字を答えなさい。

問四 線部②「もうがまんできないとばかりに涙がこぼれる」とありますが、だれの、どのような気持ちを表していますか。四十五字

以内で説明しなさい。

問五 線部③「おろおろして、ぼくは言った」とありますが、「ぼく」はどのような気持ちで言ったのですか。最も適切なものを

次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 香帆の様子を見てつらくてかわいそうに思う気持ち。

イ 香帆の様子を見てどうしたらよいのかまよう気持ち。

ウ 香帆の様子を見てめいわくだとこまっている気持ち。

エ 香帆の様子を見て腹立たしくおこっている気持ち。

問六 線部④「最後までぼくたちに頭をさげながら歩いていった」とありますが、「香帆のお母さん」のどのような気持ちが

表れていますか。三十五字以内で説明しなさい。

問七 線部⑤「香帆ちゃんとお母さんの、再出発の日」とありますが、どのような意味ですか。最も適切なものを次のア～エの中から

一つ選び、記号で答えなさい。

ア お父さんがいなくてもまわりの人に助けてもらいながら二人でやっついこうと思えた日

イ お父さんがいなくても代わりにしてくれる人がいるとわかり安心することができた日

ウ お父さんのことは忘れてまわりの人たちと楽しくやっついこうと決心した日

エ お父さんがいなくてもがんばっている人はたくさんいるとわかっつてほっとした日

問八 この文章を二つの場面に分けると、後半はどこから始まりますか。最初の五字を答えなさい。

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

時間の進みかた、長さは、その時間を過ごす時間や場所、その時間のすごしかたによって変わるだけではありません。同じところで、同じように時間をすごしていても、時間の感じかたは人それぞれが違います。

たとえば、① 感じる時間の早さや長さは、年齢によって変わります。年をとればとるほど、同じ時間の長さをみじかく感じやすくなります。大人と子どもとは、大人のほうが、一時間、一日、一週間、一ヶ月、また一年をよりみじかく感じているのです。

これにはいろいろな理由があるようです。年をとると、心臓の動きや代謝などがゆっくりになります。自分がゆっくりになるので、時計の時間の進みかたを早く感じやすくなります。

また、年をとるといろいろなことがらに慣れてきます。その結果、特別なできごと、めずらしいことがらを体験する回数が増えることになり、年をとるといろいろなことがらがへるといっても、年をとるにしたがって時間がみじかくなることに関係しているようです。

② 人による時間の感じかたは、年齢だけで決まるわけではありません。年齢は同じでも、もともと時間を長く感じやすい人、みじかく感じやすい人がいます。

また、話したり、歩いたり、体を動かしたりするテンポを調べると、人によってちがいがあることがわかります。じっさい、ちょうどいいと感じられるテンポが、人によってちがっています。

たとえば、君は時計の時間とくらべて、時間を長めに感じやすいのでしょうか、A みじかめに感じやすいのでしょうか？

君の感じる時間の長さが、時計の時間とくらべて長めなのかみじかめなのかということは、君が一分間と感じる時間が、じっさいにはどのくらいの長さなのかをはかってみるとわかります。

時計の秒針が0を指したのを見たあと、目を時計からはなし、一分たったと思った時点でもう一度秒針を見るのです。

秒針が指している時間が一分よりもみじかければ、君の感じる時間は時計の時間よりもI 進んでいることになります。

逆に、秒針が一分より長い時間を指していたら、君の感じる時間は時計の時間よりII 進んでいることになります。

また、自分がちょうどいいと思うテンポが早めかおそめかを知れることもできます。

君がちょうどいいと思うテンポで、机などを指でトントンとたたいてみて下さい。やはり時計を使って、十回たたくのかかった時間をはかるのです。たいていの人は、その時間は四〜九秒のはいりに入ります。

君のはかった時間が四秒に近かったり、それよりもIII 場合、君のテンポはかなり早めということになります。ほかの人たちからも、早口でしゃべり、せかせかと歩くせつかちな人に見られているかもしれません。

逆に九秒に近かったり、それよりもIV 場合、君のテンポはかなりゆっくりめということになります。まわりの人たちからは、ゆっくり話しゆっくり歩くのんびり屋さんと思われるかもしれません。

B みんなが、時計でなく自分の感じる時間に合わせて生活をしていたら、学校に遅刻したり、逆に早く行きすぎたりしてしまうことになります。

人によって感じる時間はちがっていますから、みんなが感じる時間にしたらがっていたら、学校や会社に行く時間もバラバラになって、うまくいきません。

みんなで生活するために、いつでもだれにとつても同じスピードで進む「時計の時間」を、道具として使っているのです。時計の時間を使うから、みんなが同じ時間に学校や会社に行けるし、待ち合わせをして遊ぶこともできるのです。

C、すべての人が、いつも時計の時間に合わせて生きられるわけではありません。

この本で見てきたように、人は思っている以上に、長く感じたりみじかく感じたりする、それぞれの「心の時間」をもって生きています。

たとえば同じ教室で、同じ時計の時間にしがたつてすごしていても、その時間を長く感じている子もいれば、みじかく感じている子もいます。みんなそれぞれ「心の時間」を生きているのです。

「時間」は見ることもさわることもできません。もともと「時間」は、じっさいに「ある」ものではなくて、③ 人間が考えた道具のようなものです。

とくに「時計の時間」は、学校や会社などで、ほかの人といっしょに生活するのが、うまくいくようにつくられたものです。

その④「時計の時間」に自分の生活を合わせることは、ほかの人たちとくらすために大切なことです。

しかし逆に、自分も、ほかのみんなも、「時計の時間」とはちがう「心の時間」を、それぞれもっているのだと考えることも、大切なことだろうと思います。

この本のはじめに書いたように、時間がたつと、私たちはおながすいたり、ねむくなったりします。また、成長したり年をとったりします。

さらに、時間がたてば、いつかは死にます。科学技術が**発展**すれば、**寿命**をのばすことはできるかもしれません。また、一生の長さは人によって違い、十代、二十代で亡くなる人もいれば、百二十歳近くまで生きる人もいます。

でも、死なない人間はいません。だれにとつても、一生の時間にかぎりがあるということに変わりはありません。

一生にかぎりがあるからこそ、人間は「時間」という道具をつくったのかもしれない。いつかは終わりがくるから、「時間」は大切なものになったのです。

このかぎりある時間をどのようにすごすかということは、だれかが決めてくれるのではなく、それぞれの人が自分で決めなくてはならないことです。

自分が時間をどんなふうに感じているか、どんな「心の時間」をもっているのかは、自分しか知りません。自分が満足できるような時間の使い方を考えられるのは、自分だけなのです。

この本の最初に出てきた「時間とは何か?」という質問にたいして、だれもが^(b)なつとくでできる答えを言うのはむずかしそうです。でも、この質問を少し変えて「君にとつての時間とは何か?」とすると、その答えは、「君の^(a)そのものだ」ということになるのです。

（一川誠『みんなそれぞれ 心の時間』より）

問一 A C にあてはまる語としてそれぞれ適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ なぜなら ウ もしも エ それとも

問二 「I」～「IV」にあてはまる語としてそれぞれ適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア みじかい イ 長い ウ ゆっくり エ 早く

問三 線部(a)「発展」・(b)「なつとく」とはどのような意味ですか。それぞれ適切なものを次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 世の中に知らせること イ ものごとが、次から次におこること

ウ さかえていくこと エ 心からよくわかること

オ 聞きとること カ 人のようすや気持ちをよくみとること

問四 線部①「感じる時間の早さや長さは、年齢によって変わります」とありますが、それはなぜですか。その理由をそれぞれ二十字程度で、二つ説明しなさい。

問五 線部②「人による時間の感じかた」を言いかえた言葉を本文中から五字以内でぬき出しなさい。

問六 線部③「人間が考えた道具のようなものです」とありますが、筆者は人間が時間を考えたのはなぜだと考えていますか。その説明として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 大人でも子どもでも、時間の長さを同じように感じるから。

イ 科学技術を発展させて、人間の寿命をのばすために必要だったから。

ウ いつかは終わりがくる人の一生を、大切にするために必要だから。

エ 一分一秒をむだにできない世の中では、学校や会社に遅刻すると大変だから。

問七 線部④「時計の時間」に自分の生活を合わせることは、ほかの人たちとくらすために大切なことです」とありますが、「ほかの人たちとくらすために大切」なのはなぜですか。四十五字以内で説明しなさい。

問八 にあてはまる語として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 生きかた イ 考えかた ウ 見かた エ 感じかた

三 次の 線部の漢字はひらがなに、カタカナは漢字にそれぞれ直しなさい。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① シキユウ連絡をください。 | ② お金のカチを知る。 |
| ③ ホウリツについて学ぶ。 | ④ クラブ活動にカニユウする。 |
| ⑤ お気に入りのエイガをみる。 | ⑥ みんなでハイタを作る。 |
| ⑦ 病気のゲンインを調べる。 | ⑧ お花をソナえる。 |
| ⑨ セイキの大発見だ。 | ⑩ エイキユウに会えないかもしれない。 |
| ⑪ さくら並木を歩く。 | ⑫ 水玉模様のかばんを買う。 |
| ⑬ ワールドカップが閉幕した。 | ⑭ 生徒会の組織をつくる。 |
| ⑮ 相談窓口を設ける。 | |